

きんぎょ



176号



【解体修理を終えた薬師寺東塔】

国宝、薬師寺東塔は2009年以来、約10年間の解体修理を終えて今春、再び1,300年前の姿を現した。落慶法要はコロナ禍のため延期されたままである。伽藍は飛鳥の地で創建、710年の平城遷都で奈良市西ノ京のこの地に移されたといわれる。創建以来の建物はこの東塔のみであり、高さ34mのリズミカルで優美な三重塔は「凍れる音楽」と称賛される。右側に底の見える金堂には、ご本尊である国宝、薬師如来が安置されている。私たちの身と心の病気を救ってくださる仏様である。コロナ禍にもご利益を期待したいものである。

加藤 裕造 (建設/総監)

目 次

[項 目]	[執筆者]	[頁]
表 紙 解体修理を終えた薬師寺東塔	加藤裕造	1
巻頭言 コロナ禍と事務局の行く末	犬飼保夫	3
近畿本部/支部 報告・予告		
理事会便り (2020-No. 3)	河野千代	4
2020 年度第 3 回役員会議事録 (案)	田岡直規	7
インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 2020	河野千代	9
2019 年度技術士第二次試験合格者祝賀会	河野千代	12
部会/活動グループ 報告・予告		
近畿本部 情報工学部会	野原英則・本多利行	13
近畿本部 防災研究会	小島和彦	15
近畿本部 化学部会	久保田正博・橋本隆幸	16
近畿本部 環境研究会	鈴木秀男・西島信一	20
近畿本部 機械システム部会	河島 巖	22
近畿本部 技術士業務研究会	三木茂男	24
近畿本部 関西食品技術士センター	半埜賢治	25
近畿本部 衛生工学部会	深田晃二	26
近畿本部 繊維部会	釜谷彰郎	27
編集室だより		
みなさんの原稿大募集	きんき編集室	2
1-2 月行事予定	きんき編集室	28
きんき電子版配信中	きんき編集室	28
編集後記	木藤 茂	28

みなさんの原稿大募集

「きんき」編集室では、会員の皆様からの投稿を随時受け付けております。
会員間の相互交流や近畿本部の活性化に向けて、「きんき」の誌面をご活用下さい。
編集室までご送信をお願いいたします。きんき編集室 E-mail: hensyu@ipej-knk.jp

投稿規定：Word ファイル (pdf 不可)、A4 版 1~2 頁 43 文字×43 行
タイトル MS ゴシック 14 ポイント
著者名 MS ゴシック 11 ポイント
本文 MS 明朝 11 ポイント

技術解説、随筆、紀行文等の文章だけでなく、イラスト・スケッチ・カットも大歓迎です。表紙絵画・写真も募集しています。誌面活性化のため、ご協力をお願いします。

コロナ禍と事務局の行く末

近畿本部 事務局長 犬飼 保夫（航空・宇宙／総監）

2020年4月から事務局長を拝命しております。また事務局員2名も4月から新メンバーとなりました。事務局3名、業務を開始して半年あまり、まだまだ不慣れなため皆様には種々ご迷惑をおかけするとは思いますが、今後ともなにとぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

さて4月よりリスタートした事務局ですが、いきなりCovid-19いわゆる新型コロナウイルスの全世界的感染の大きなうねりの中にまきこまれることになりました。

4月、世間では外出制限下で仕事場に出勤せず自宅等で仕事をする勤務体制が一気に拡大する中、事務局は「技術士第二次試験受験願書の配布」があり閉鎖できず、毎日出勤しておりました。そんな中、「2019年度第二次試験合格者祝賀会」は6月に延期となりました。

5月、願書配布期間が終了した段階で、1日おきに出勤する隔日勤務に移行しました。このころからインターネットを利用した会議の実施がはじまりました。「第1回役員会議」はインターネット配信の書面審議、HP等を利用しました。

6月、勤務は日々、時短勤務にかわり、「第一次試験願書の配布」が始まった中旬からようやく通常勤務となりました。「近畿本部年次大会」は書面による形で実施しました。なお4月から延期となった「第二次試験合格者祝賀会」は再度8月に延期となりました。

7月、予定されていた「技術士第二次試験」が9月に延期となりました。一方、自粛制限緩和で委員会、部会の事務局大会議室での実施が少しずつ増加してきました。急遽、事務局としては感染防止のため、もっとも基本的予防策である「3密」をさけるため、「ソーシャルディスタンス」（これについては175号の当方の記事をご覧ください）を確保するため会議室の定員を一気に12名（最大18名）まで減らし、それ以上の方は事務局に出会（事務局にくることを、「しゅっかい」というそうです）されないようにしました。これにともない盛んになってきてきたのが、Teams等のビデオ会議ソフトによる会議形態です。

8月、国民インフラメンテナンス会議が6日、7日に鶴見緑地で、また再延期になっていた「第二次試験合格者祝賀会」を29日に、広い会場確保、パーティション、体温測定、アルコール洗浄、場所情報登録等の種々のコロナ対策を実施して開催することができました。さらに9月21～22日に「2020年度技術士第二次試験」が開催されるため、その試験要員手配等の準備に対応しました。この間、Teamsによるビデオ会議は日増しに増え、各委員会、部会等が開催されるたびにTeams会議設定の支援をする日々が続きました。

ざっと振り返るとこのような状況で、イベント数こそ少ない状況でしたが、事務局新人3名で、刻々と変化する状況に対応しての度重なる計画変更、各種コロナウイルス感染予防対策、HP、Teams等のインターネット関連の迅速な設備構築、整備、運営支援等の実施と、これまでなかったような事務局業務を実施しています。（これらは今後も続くと思われます。）

近畿本部はこの新しいコロナ禍の情勢、秩序の中で、2022年奈良で開催予定の日本技術士会全国大会の主催、2025年の関西万国博覧会への出展が計画されており、今後は、三役、事務局主体で会員各位のご協力を仰ぎ、これらを含めた種々のイベントに参加することにより、日本技術士会の存在を従来とは違う秩序の中で世間に知っていただき、それをいかに高めていくかということの主眼において、準備に入っていきます。

それに対して事務局3名は「Plan AでだめならPlan Bで、それでもだめならPlan Zで」を合言葉にフレキシブルな対応を心がけていきます。どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。（プロジェクト遂行の基本 Plan A；基本案 Plan B；代替案 Plan Z；臨機応変）